

「平成 30 年度気仙沼市地域防災リーダー(KBL)養成講座」を実施しました(2019/3/17)

テーマ：地域防災，気仙沼分室
場所：気仙沼市役所（宮城県気仙沼市）

3月17日（日）に気仙沼市役所 ワン・テン庁舎 2 階 大ホールにおいて、「平成 30 年度気仙沼市地域防災リーダー（KBL）養成講座」が開催されました（共催：気仙沼市・東北大学災害科学国際研究所）。本講座は、全 2 回にわたって地域の防災活動で中心的な役割を担う「気仙沼市地域防災リーダー」（KBL：Kesenumashi chiiki Bousai Leader）を養成するものです。防災意識の高い住民を一人でも多く育て、県内最低レベルにある自主防災組織率の向上を図ることを目的の一つとしています。宮城県内の自主防災組織率は市町村平均で82.7%（2018年4月現在）、気仙沼市は54.9%と県内で3番目に低いのが実態です。講座は、当研究所が共催し、カリキュラムの内容や講師派遣などで全面的な協力を行っています。

1日目の3月17日は、当研究所の邑本俊亮教授（人間・社会対応研究部門）、松本行真准教授（リーディング大学院）、佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）が講師として参加しました。担当した講座は、以下の通りです：

- 「災害時の人間心理・行動」 邑本俊亮
- 「気仙沼市の災害史と近年の災害」 佐藤翔輔
- 「コミュニティ形成技術」 松本行真

当研究所は平成 25 年 7 月に「気仙沼市と国立大学法人東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定」を締結するとともに、気仙沼分室を気仙沼市内に設置して、防災・減災や復興の推進に連携して取り組んでいます。養成講座には、最も若い受講生は高校生で、男女様々な年齢の市民 50 名が参加しました。市民のみなさんから多くのご質問をいただき、盛会のうちに終わりました。



邑本俊亮教授



松本行真准教授



佐藤翔輔准教授



会場の様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門，気仙沼 WG）